

歯科材料 06 歯科用印象材料  
一般医療機器 歯科複模型用寒天印象材 70890000

## オムニロイドD

### 【形状・構造及び原理等】

該当規格：JIS T 6527「歯科複模型用印象材」(タイプ1)  
概要：寒天を主成分とし、物理反応によるゾル化とゲル化を利用して複模型の作製に使用する。  
形状：ゲル状(円柱状)で、緑色の色調をしている。  
原理：ゾル状の寒天を主模型に流し込み、ゲル化させ、完全冷却後、主模型を取り外し、模型材(耐火埋没材等)を注入して複模型を作製する。

### 【使用目的又は効果】

寒天を主成分とする可逆性ハイドロコロイド印象材で、複模型の作製に用いる。

### 【使用方法等】

- 1) 容器から、ゲル状の本品を必要量取り出し、適度な大きさに切断します。
- 2) 専用の寒天溶解器又は鍋での湯煎等により、攪拌しながら加熱溶解します。
- 3) 溶解した本品を保温温度(約50℃)にて係留しますと注入可能となります。
- 4) 主模型は30~40℃の温水中にて加温し、エア等で余分な水分を除去しておきます。
- 5) 主模型を配置した専用のフラスコへと、ゾル状の本品を上部にあふれるまで注入します。
- 6) 室温にて放冷し、注入部の本品がゲル化しましたら、流水下(25℃以下)にて60分以上冷却させます。
- 7) 完全に冷却し、ゲル化した後、印象内面にエアを吹き込み、内圧を解除し、本品から主模型を取り外します。
- 8) 印象面を確認し、必要がある場合は固定操作を行ったうえ、水分等を十分に取り除いた後、所定の模型材(耐火埋没材等)を注入します。  
(模型材の硬化時間等は各メーカーの指示にしたがってください。)

### 【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 1) 本品の溶解温度は95℃、注入温度は45~50℃とする。
- 2) 本品のゲル化温度は約35℃である。
- 3) 溶解直後の本品は高温のため、火傷しないように注意すること。
- 4) ゲル化した本品は空気中では水分の蒸発に伴い収縮し、寸法変化の原因となるため、模型材(耐火埋没材等)の硬化まで湿度100%の状態での保存すること。
- 5) 本品は、繰返し溶解や保温温度等により徐々に劣化し、弾性が低下するため、繰返し使用する際は未使用の本品を50%以上加えて使用すること。

### 【使用上の注意】

- 1) 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)  
①本品は、各種模型材に対応できるようにしてあるが、面荒れもしくは必要な精度が得られない場合は、直ちに使用を中止すること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 【保管方法】

- ・常温(15~25℃)で保管すること。
- ・寒天が凍結する場所又は凍結する可能性がある場所には保管しないこと。(冷蔵庫で保管する場合には、冷蔵庫の機種又は庫内の置く位置によっても凍結する可能性があるので注意すること。)
- ・複印象使用後の本品(ゲル状)は十分に水洗し、水(水道水)を満たした容器に保存すること。

#### 【有効期限】

本品は包装に記載の使用期限までには使用すること。  
記載の使用期限は自己認証(オムニコ社データ)による。

### \*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社オムニコ  
住所：〒294-0013  
千葉県館山市宝貝182